

立命館大学では、学生が安心して学生生活を送り、一人ひとりの学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、独自の奨学金制度を設けています。本学独自の奨学金は、経済的に困難な状況のなかでも学び成長したいと願う学生をサポートする「経済支援型奨学金」と、学修・留学・課外活動などの目標にチャレンジし、多様な活動に取り組む学生をサポートする「成長支援型奨学金」があります。本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構、民間財団、地方公共団体など学外資金による奨学金も多数の学生が利用しています。各種奨学金の願書入手方法や出願方法、出願資格などの詳細は、本学奨学金制度 WEB サイトにて随時更新します。

奨学金制度WEBサイト <http://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/>



1. “一般選抜受験前”に出願する奨学金

立命館大学 近畿圏外からの入学者を支援する奨学金（給付型）

遠方(近畿圏外)から本学への入学を強く志望する者に対して、本学への進学を支援することを目的とした奨学金です。本奨学金は、一般選抜の受験前に採用候補者を決定します。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 募集人数
約400名</p> <p>2. 出願資格
立命館大学への入学を強く志望し、2022年度一般選抜(共通テスト方式・共通テスト併用方式を含む)を受験する者。出願日(2021年12月7日)時点で、出願者および生計維持者³の住民票記載の住所が京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県または和歌山県以外の都道府県にある者。または、市区町村役場に「海外転出届」を提出し海外に居住している者。2020年(2020年1月～2020年12月)の生計維持者の年間収入を合算した金額が以下であり、当該事実を証明する公的書類を提出できる者。
・給与、年金収入金額(課税前)の場合：900万円未満
・その他、事業所得金額の場合：414万円未満</p> <p>3. 給付内容
給付金額：文系学部(映像学部除く)…年額30万円
理系学部²・映像学部……年額50万円
給付期間：修業年限までの4年間(薬学部薬学科は6年間)
給付方法：半期ごと(春学期と秋学期)に年間給付額の半額を本人名義の口座に振り込みます。</p> | <p>4. 併給
日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免とは併給できません。</p> <p>5. 出願期間
2021年11月15日(月)9時～12月7日(火)17時【WEB申請】</p> <p>6. 採用候補者選考・決定
本奨学金に出願し出願資格を満たす者のなかから、生計維持者の合計収入所得の低い方から順に採用します。選考結果は、2022年1月11日(火)以降(予定)に出願者全員に郵送します。</p> <p>7. 募集要項・願書入手方法
本学ホームページ「受験生・新入生の方」「学部受験生の方へ～学部受験生のための入試サイト～」 「学費・奨学金」「奨学金」よりダウンロードしてください。</p> <p>8. 問い合わせ先
立命館大学衣笠学生オフィス 奨学金係
TEL：075-465-8494(直通)
土日祝日を除く 9：30～17：00</p> <p>1 文系学部：法学部・産業社会学部・国際関係学部・文学部・経営学部・政策科学部・総合心理学部・経済学部・スポーツ健康科学部・食マネジメント学部
2 理系学部：理工学部・情報理工学部・生命科学部・薬学部</p> |
|---|---|

2. “入学前”に出願する奨学金

立命館大学 家計急変学費減免（給付型）

入学前に家計急変や自然災害等による経済的な理由により、修学が困難となった者に対して支援する奨学金です。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 採用人数
基準を満たす者は全員採用
国の「高等教育の修学支援新制度」の家計急変による授業料減免制度を包括した制度であり、原則、日本学生支援機構給付奨学金の家計急変に出願を要する。</p> <p>2. 出願資格
本学への入学の意思が明確でありながら2021年1月以降に受験生の生計維持者³の死亡・重度後遺障害・自然災害による居住家屋の被災(半壊等)および生計維持者の30日以上入院・加療により、入学にあたって経済的に困難な状況にある者。</p> <p>3. 減免内容
減免金額：年間授業料の1/4の額
減免期間：入学年度1回のみ
減免方法：4月入学予定者は入学初年度の春学期</p> | <p>4. 募集時期
4月入学予定者：2月・4月締切
9月入学予定者：10月締切
詳細は本学奨学金制度WEBサイトで確認してください。</p> <p>5. 募集要項・願書入手方法
上記「奨学金制度WEBサイト」よりダウンロードしてください。</p> <p>6. その他
本奨学金に採用された場合も、所定の期限までに入学金と諸会費を納入していただく必要があります。</p> <p>7. 問い合わせ先
立命館大学衣笠学生オフィス 奨学金係
TEL：075-465-8168(直通)
土日祝日を除く 9：30～17：00</p> |
|---|---|

- 3 上記2つの奨学金に記載されている生計維持者とは、出願者の「父」と「母」の両方です。ひとり親家庭や、父母の死去・疾病・身体障害等により学費等の負担が難しい場合は、その状況を示す公的書類を提出いただき生計維持者を判断します。

民間奨学財団奨学金【学校推薦群】(給付型)

民間奨学財団が募集する奨学金のうち、大学による一括募集・選考(書類・面接)を経て推薦する財団を【学校推薦群】としています。詳細は本学奨学金制度 WEB サイトで確認してください。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 募集人数
若干名</p> <p>2. 出願資格
立命館大学を代表する奨学生として相応しい者(学業成績優秀、品行方正)でありながら経済的理由で修学が困難な者。採用後、各財団が求める交流会、研修会等に参加できる者(家計基準、成績基準あり)。</p> <p>3. 給付内容
各財団により異なる(月額2万円～5万円)。</p> | <p>4. 出願締切日
2022年3月中旬</p> <p>5. 募集要項・願書入手方法
奨学金制度WEBサイトよりダウンロードしてください。</p> <p>6. 問い合わせ先
立命館大学衣笠学生オフィス 奨学金係
TEL：075-465-8168(直通)
土日祝日を除く9：30～17：00</p> |
|---|---|

*ここで紹介する【学校推薦群】以外に、一括募集ではなく各自で出願ができる【一般公募群】(給付型、貸与型)の奨学金もあります。また、地方公共団体の奨学金(貸与型中心)もあります。

3. “入学直後”に出願する奨学金(出願締切：2022年4月上旬)

「日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免」と「日本学生支援機構貸与奨学金」の募集を入学直後に行います。出願するためには、入学前に募集要項の請求が必要です。詳細は、入学手続書類に同封する「奨学金・学生生活の手引き」を確認してください。

名称	種別	奨学金の内容	出願資格等
日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免	給付型(学費減免)	日本学生支援機構 給付奨学金 給付金額(年額) 第1区分 自宅外 約91万円・自宅 約46万円 第2区分 自宅外 約61万円・自宅 約31万円 第3区分 自宅外 約31万円・自宅 約16万円 給付期間 修業年限まで 毎年継続手続(継続審査)あり	家計基準 非課税世帯を第1区分、それに準ずる世帯を第2または第3区分と日本学生支援機構が認定 家計基準による区分の認定の詳細は、日本学生支援機構WEBサイトを参照のこと
		立命館大学学費減免(国の授業料等減免制度に本学の支援を合わせた制度) 給付金額(年額) 第1区分 70万円または授業料1/2の金額の大きい方を採用 第2区分 約46万円または授業料1/4の金額の大きい方を採用 第3区分 約23万円または授業料1/4の金額の大きい方を採用 大学独自区分 授業料1/4の金額 入学金は、第1区分20万円、第2区分約14万円、第3区分約7万円を減免 給付期間 修業年限まで 毎年継続手続(継続審査)あり	家計基準 非課税世帯を第1区分、それに準ずる世帯を第2または第3区分とし、日本学生支援機構が認定 第1～3区分に該当せず、年間給与収入400万円以下の世帯(父母合算)を大学独自区分として認定
日本学生支援機構貸与奨学金	貸与	貸与額(月額) *以下より選択 第一種(無利子) 自宅生：2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外生：2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円 *各通学区分の最高月額は別途基準を満たす必要あり 第二種(有利子、上限3%、在学中は無利子) 2万円～12万円(1万円単位、薬学部のみ14万円も選択可) 貸与期間 修業年限までの4年間(薬学部薬学科は6年間) 毎年継続手続(継続審査)あり	学力基準 第一種：高等学校での評定平均値が3.5以上 *住民税非課税世帯の場合は学力基準なし 第二種：本学入学を以って基準を満たしている とみなす 家計基準 詳細は日本学生支援機構WEBサイトで確認のこと

- * 日本学生支援機構給付奨学金および貸与奨学金は、高等学校在学中に予約採用としての出願が可能です。入学後に奨学金を活用する方は、予約採用の出願を行うことをお勧めします。詳細については、在籍する高等学校に確認してください。予約採用で希望どおりの採用とならなかった場合でも、入学直後に大学で在学採用(上記記載)として再出願が可能です。
- * 日本学生支援機構給付奨学金が採用となった場合、貸与奨学金第一種の貸与月額が減額調整され、0円となる場合があります。貸与奨学金の月額が必要な場合は、第二種の出願を必ず行ってください(詳細は日本学生支援機構WEBサイトを参照してください)。
- * 日本学生支援機構貸与奨学金は、比較的採用されやすいため、学生生活で奨学金が必要となる場合は、日本学生支援機構貸与奨学金を基本に学費等の計画を立てられることをお勧めします。